

安くて、
よく効く!

ニュータイプのイネ科雑草専用除草剤

- 大豆・だいこん・にんじん・たまねぎ・きゃべつなどに安心して使用できます。
- コスト低減を実現。●散布翌日の中耕もOK。

ワンサイドP乳剤で効果のある主な雑草



ヒエ



メヒシバ



エノコログサ



シバムギ



チガヤ

殺草効果 (効果の発現)

適期、適量処理により、
十分な効果を発揮
させましょう。



処理2日後



処理1週間後



処理3週間後(完全枯死)

ワンサイドP乳剤の特長

1. 選択性が明瞭です!
広葉作物にはほとんど影響がありません。
2. 多年生イネ科雑草にも優れた効果を示します。
ススキ、チガヤ、キシュウスズメノヒエなどにも効果的です。
3. いろいろな場面で使えます!
広葉作物や水田畦畔、非農耕地など幅広い場面で使えます。
4. 降雨による薬効の低下の心配がありません!
有効成分は短時間で吸収されるので、効果低下の心配はありません。
5. 効果はゆっくり発現します!

イネ科雑草を防除する。確かな選択で応える。

選択性茎葉処理型除草剤



ワンサイド[®]P 乳剤



石原バイオサイエンス株式会社

農林水産省登録
第20123号

適用作物と使用方法

※本資料は平成18年6月現在の登録状況

作物名/適用場所		適用雑草名	使用時期		10アール当たり使用量	
					薬量	希釈水量
だいず		畑地一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラ除く) 及び シバムギ、レッドトップ	雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期)	収穫60日前まで	75～100ml	70～100 ℓ
あずき*・いんげんまめ*				播種60日後まで		
たまねぎ				収穫30日前まで		
てんさい(移植栽培)**				植付60日後まで		
トマト・ミニトマト				収穫21日前まで		
らっかせい				播種30日後まで	50～75ml	
かんしょ				植付60日後まで		
にんじん				播種30日後まで	50～100ml	
だいこん				収穫45日前まで		
いちご(親株床)				収穫後～定植まで		
きゅうり		収穫30日前まで				
アスパラガス		収穫前日まで	75～100ml			
やまのいも		収穫30日前まで				
キャベツ		収穫21日前まで				
にんにく					100 ℓ	
桑		畑地一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラ除く) 及び シバムギ、レッドトップ	雑草生育期 (草丈20cm以下)	—	100～200ml	100～150 ℓ
つつじ・つばき・とちのき さつき・さくら・まつ・しゃりんばい			—			
いぐさ		水田一年生イネ科雑草	落水後 (雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期))	—		
かんきつ		畑地一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラ除く)	春季～夏季 雑草生育期 (草丈20cm以下)	収穫120日前まで	200～300ml	
		チガヤ、ススキ等の 多年生イネ科雑草	春季～夏季 雑草生育期 (草丈30cm以下)		300～500ml	
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生イネ科雑草 キシュウスズメノヒエ	雑草生育期 (草丈30cm以下)			200～400ml
植木等	公園・庭園・ 堤とう・駐車場・ 運動場・道路・ 宅地・のり面等	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラ除く)	雑草生育期 (草丈20cm以下)	—	150～300ml	100 ℓ
		多年生イネ科雑草	雑草生育期 (草丈30cm以下)	—	400～600ml	150 ℓ

使用方法:雑草茎葉散布(但し、いぐさは雑草茎葉散布(落水)、樹木等は植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布)

*適用地域(東北以北)、**適用地域(北海道)、その他の作物は全域

使用回数:桑、つつじ・つばき・とちのき・さつき・さくら・まつ・しゃりんばい(2回以内)、樹木等(3回以内)、その他の作物(1回)

⚠️上手な使い方

(1) 適期、適量処理により、十分な効果を発揮させましょう。

畑地において一年生イネ科雑草を防除する場合には、雑草葉令が3~5葉期に達したとき全体に処理すると最も高い効果を発揮します。また、畑地以外で、多年生イネ科雑草を防除するときは、草丈を指標とし、幼穂形成期前なるべく葉面積の大きい時期が適期となります。

(2) 他剤との体系または混用により広葉雑草も防除しましょう。

本剤は、イネ科雑草が優占する場面で使用することをおすすめしますが、広葉雑草やカヤツリグサ科雑草を同時に防除するためには、これらの雑草に有効な除草剤との体系または混用で使用してください。

(3) 効果を十分に見とどけましょう。

処理後完全枯死までには、約3週間程度かかる場合があるので、途中で効果不十分と判断して再び散布することのないよう注意してください。

(4) 乾燥条件下では散布に注意しましょう。

強い乾燥条件が続くと養分や水分などの体内流動が不十分で、本剤の

体内移行が緩慢となり効果が低下することがあるので、使用基準の範囲で多めに散布するか降雨を待って散布してください。

(5) 展着剤は場面によって使いましょう。

本剤は展着剤を加用すると効果をより確実にします。一般的に、畑地における一年生イネ科雑草の防除には必要はありませんが、多年生イネ科雑草が発生する一般非農耕地などでは必ず使用してください。

⚠️使用上の注意

周辺のイネ科植物に対して注意を払いましょう。

(1) 本剤の散布液がイネ科作物にかかるると葉害を生じやすいので、周辺にイネ科作物がある場合、薬液が飛散しないよう十分注意して散布してください。

(2) 散布器具の洗浄水及び残りの薬液は河川、湖沼などに流さないでください。また、空ビン等は圃場などに放置せず、3回以上洗浄し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

取り扱い



石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番30号

ホームページ アドレス <http://www.iskweb.co.jp/ibj/>